

京都市次期クリーンセンター整備事業に係る 計画段階環境配慮及び環境影響評価業務の受託候補者選定の評価基準

1 趣旨

本評価基準は、京都市次期クリーンセンター整備事業に係る計画段階環境配慮及び環境影響評価業務の委託に当たり、本市が設ける審査委員会において受託候補者を選定するために必要な事項について定める。

2 審査項目

次の項目について、評価基準(別表1)により行うものとする。

- (1) 業務実施体制及び実績
- (2) 企画力
- (3) 資料作成力及び取組意欲
- (4) 見積金額
- (5) 社会的課題への貢献

3 審査点

2に規定する各審査項目の審査点は、次のとおりとし、合計を100点とする。

- | | |
|-----------------|-----|
| (1) 業務実施体制及び実績 | 25点 |
| (2) 企画力 | 30点 |
| (3) 資料作成力及び取組意欲 | 30点 |
| (4) 見積金額 | 10点 |
| (5) 社会的課題への貢献 | 5点 |

4 審査表

審査は審査表(別表2)によって行う。

5 選定方法

審査委員会の各委員の審査点の総合計点が、本市が設定した最低基準(満点の6割)を上回った者のうち、最大となる者を受託候補者として選定する。

なお、評価点の総合計が最大となる者が2者以上となった場合においては、見積金額が最も低い者を選定することとし、見積金額も同額である場合は、くじ引により受託候補者を選定する。

また、受託希望者が1者の場合にあつては、最低基準を上回ることを条件とし、本業務委託を受託するに当たり、適切に業務を遂行できるか否かを総合的に判断し、受託候補者を選定する。

(別表1)

評 価 基 準

(1) 業務実施体制及び実績

審査事項	評価				
	A	B	C	D	E
<ul style="list-style-type: none"> 本業務の円滑な実施に足る実績と、技術者の専門知識・資格を有しているか。 管理・照査・担当の各技術者が適切に配置され、十分な実施体制があるか。 	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分

(2) 企画力

審査事項	評価				
	A	B	C	D	E
<ul style="list-style-type: none"> 本業務の背景、目的、課題を理解し、具体的かつ理論的な提案であるか。 本事業の特性を踏まえた提案となっているか。 提案内容に受託希望者特有の利点があるか。 提案内容が履行期間内に実現可能で、かつ具体性を備えているか。 	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分

(3) 資料作成力及び取組意欲

審査事項	評価				
	A	B	C	D	E
<ul style="list-style-type: none"> 的確で分かりやすい資料を作成する能力があるか。 配置技術者の知識・経験を踏まえ、提案内容に説得力、説明能力があるか。 業務への取組み意欲があるか。 	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分

(4) 見積金額

審査事項	評価
見積内容が妥当であるか。 ※提案書により評価します。	$\frac{\text{受託希望者中の最低見積金額}}{\text{各受託希望者の見積金額}} \times 10 \text{点}$ ※ 小数点以下は切り捨てる。

(5) 社会的課題への貢献

審査事項	評価	
	該当する	該当しない
これからの1000年を紡ぐ企業認定や環境マネジメントシステム（ISO14001 やKES等）の認証等を取得しているか。 ※提案書により評価します。	5点	0点

(別表2)

審査表

委員名	
-----	--

委託業務名：京都市次期クリーンセンター整備事業に係る計画段階環境配慮及び環境影響評価業務

事業者名：_____

審査項目	各評価における審査点					審査点
	A	B	C	D	E	
(1) 業務実施体制及び実績	A	B	C	D	E	
	25	20	15	10	5	
(2) 企画力	A	B	C	D	E	
	30	24	18	12	6	
(3) 資料作成力及び取組意欲	A	B	C	D	E	
	30	24	18	12	6	
(4) 見積金額	受託希望者中の 最低見積金額 _____ × 10					
	各受託希望者の 見積金額					
(5) 社会的課題への貢献	該当する		該当しない			
	5		0			
合計	100点(満点)					